

百人一首ゆかりの地 福知山

「花の色は うつりにけりな いたづらに
わが身世にふる なかめせしまに」(9) 小野小町

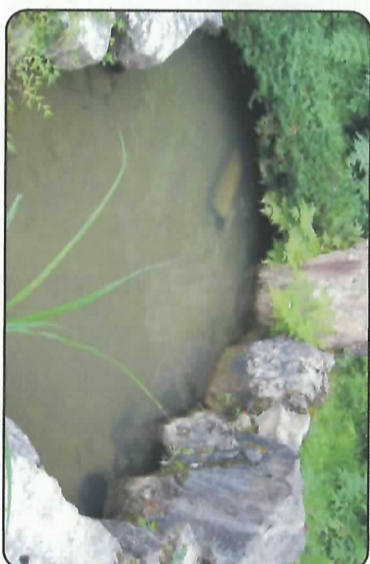
(平安初期840年頃)

(桜の花は長雨が降っている間に色あせた
私の顔も色あせてしまった、この世の雑事・恋に紛れているうちに)



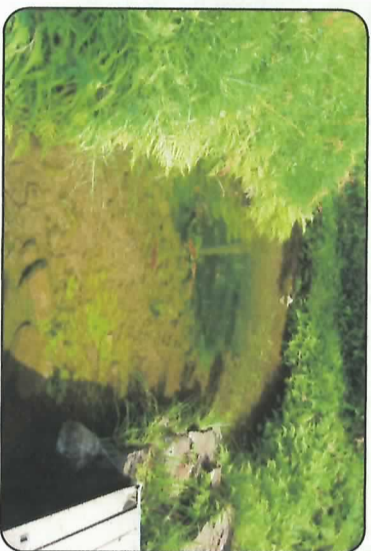
小町の郷・小町神社

毎年4月18日 小町が旅立った日には小町祭りが開催されています。



化粧池

小町が鏡代わりに使用していた池。病が
治った日も、ここで顔を写しました。



小町が通った湯の湧き出る池

現在は冷たい水が湧き出ていますが、この池の
周りには雪が積もらないそうです。



小町神社の入り口の百人一首のかかる絵



久昌寺 歌かけ薬師

小町が歌をかけた歌かけ薬師